

令和6年度協働事業提案制度公開事業報告会 結果報告

1 日時

令和6年6月9日(日) 午前10時15分～午前11時00分
(その後、午前11時40分まで審査作業部会意見取りまとめ)

2 会場

けやき会館2階 大研修室

3 報告会対象者

令和5年度が最終年度となる事業(2事業)の実施団体及び事業担当課

4 参加者

32名

(内訳) 団体3名、事業担当課2名、市民フォーラム8名、傍聴者6名

5 審査員の評価

各事業の成果に対し、4項目4段階で評価を行った。

評価項目 事業の有効性、協働の有効性・効果、役割分担の適切性、経費の適切性

評価区分 a: 高く評価できる b: 評価できる c: あまり評価できない d: 評価できない
評価点は、a = 4点、b = 3点、c = 2点、d = 1点と置き換え点数化し、
80点満点(審査員5名×4項目×4点)を100点満点に換算。

	事業名	評価点 (100点満点に換算)	主な審査会意見
1	「住んでみたいまち相模原」をめざす移住・定住促進事業	91	継続的に実績を上げていることや移住の範囲も広がりを見せている等、継続性をもって将来を見据えていることが大変評価できる。 ○取り扱い物件を増やすことができるよう、空き家物件の所有者にもメリットがもたらされるよう、引き続き工夫をしながら取り組んでいただきたい。 里山の持続可能性を維持すると共に、里山の価値を求める人たちが豊かな生活を送れるよう、今後も活動を継続していただきたい。 移住者の声を把握しながら、行政との連携も強化し、今後の事業展開に活かしていただきたい。
2	食品ロスと食の格差解消で、夢と希望が持てるまちづくり	79	フードロス問題に有効な事業であると評価している。 プロスポーツチームと連携し、子どもたちへの観戦招待や食材配布、企業から提供してもらった地元物産の販売等、企業にとってもメリットのある方法を検討し、企業との連携を継続・強化していただきたい。 地域に応じて、ニーズは異なると思われるため、地域性を踏まえた事業に取り組んでいただきたい。 今後はNPO法人としての組織力をつけ、事業の継続を図っていただきたい。

以上